

薬 第 1 0 0 4 号

平成 3 1 年 1 月 2 2 日

一般社団法人埼玉県病院薬剤師会会長 様

埼玉県保健医療部長 本多 麻夫  
(公印省略)

注射用鉄剤の適正使用について (依頼)

保健医療行政の推進につきましては、日頃格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
標記について、平成 3 1 年 1 月 1 1 日付け事務連絡で厚生労働省医政局総務課医療安全推進室及び同省医薬・生活衛生局医薬安全対策課の連名で別添 (写し) のとおり事務連絡がありました。

つきましては、貴会会員に周知くださいますようお願いいたします。

また、当該事務連絡 (写し) については薬務課ホームページに掲載しています。

記

(薬務課ホームページ)

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0707/yakkyokutoukankeitsuuti.html>

担 当 : 薬務課 総務・温泉・薬事相談担当

電 話 : 048-830-3624

F A X : 048-830-4806

E-mail : a3620-08@pref.saitama.lg.jp



事務連絡  
平成31年1月11日

各  
〔都道府県  
保健所設置市  
特別区〕  
衛生主管部（局） 御中

厚生労働省医政局総務課医療安全推進室

厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課

#### 注射用鉄剤の適正使用について

鉄欠乏性貧血の治療を目的として承認されている注射用鉄剤については、経口鉄剤の投与が困難又は不適当な場合に限り使用することとされています。

今般、鉄剤の静脈内注射について、不適切な利用の実態があることが確認されたことを踏まえスポーツ庁競技スポーツ課長・政策課長・参事官（地域振興担当）より、別添のとおり「不適切な鉄剤の静脈内注射の防止について（依頼）」が发出されたところです。

鉄剤の静脈内注射は、鉄分の過剰摂取につながりやすく、急性および慢性の副作用を引き起こすおそれがあります。

つきましては、別添の通知の内容に御留意の上、鉄剤の使用に当たっては競技者及び関係者の希望によるのではなく、添付文書を熟読し、医学上の必要性を判断し、適切な対応をしていただけるよう、貴管下関係者、病院、診療所、薬局等に周知方お願いします。





30ス競ス第18号  
平成31年1月11日

各都道府県・指定都市教育委員会体育主管課長  
各都道府県・指定都市スポーツ主管課長  
各都道府県私立学校事務主管課長  
小中高等学校を設置する学校設置会社を所轄  
する構造改革特別区域法第12条第1項の認定  
を受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課長  
各 国 公 立 大 学 担 当 課 長  
附属学校を置く各国公立大学法人担当課長  
各 国 公 立 高 等 専 門 学 校 担 当 課 長  
各 スポーツ 関 係 団 体 の 長

殿

スポーツ庁競技スポーツ課長

榎 井 圭 子

(印 影 印 刷)

スポーツ庁政策課長

鈴 木 敏 之

(印 影 印 刷)

スポーツ庁参事官(地域振興担当)

増 井 国 光

(印 影 印 刷)

### 不適切な鉄剤の静脈内注射の防止について(依頼)

スポーツの実施にあたっては、スポーツを行う者の心身の健康の保持増進及び安全の確保が図られることが重要です。

しかしながら、今般、一部の競技において、本来であれば鉄欠乏性貧血が重症かつ緊急の場合など、経口による鉄剤の投与が困難又は不適當である場合に限って使用されるべき鉄剤の静脈内注射について、不適切な利用の実態があることが確認されまし

た。

鉄剤の静脈内注射は、鉄分の過剰摂取につながりやすく、鉄が肝臓、心臓、すい臓、甲状腺、内分泌臓器及び中枢神経などに沈着し、機能障害を引き起こしたり、ヘモグロビンをつくる能力の低下を招いたりする恐れがあります。また、鉄剤の静脈内注射は経口による鉄剤の投与が困難又は不適當である場合に限って使用されるべきものとされています。

したがって、鉄剤の静脈内注射が選手の健康を害する危険性を理解した上で、疲れやすく競技のパフォーマンスが低下しているなどの競技者からの訴え等に対して、指導者等は安易に鉄剤の静脈内注射の使用を医師に求めることなく、医師の診断に従い、適切に治療を受けるよう促すことが必要です。

鉄欠乏性貧血は、食事において鉄分をはじめとする必要な栄養をしっかりとるとともに、休養やトレーニング強度・量に配慮することで予防することができます。特に成長期の競技者については、骨や筋肉の発育・発達のために鉄分が消費されることから、鉄欠乏状態になりやすいことに留意が必要です。

については、地方公共団体又は学校設置者におかれては所管又は所轄の学校及び関係機関等に対して、都道府県におかれては域内の市区町村に対して、このことについて周知くださるようお願いいたします。

また、スポーツ団体については、統括団体におかれては加盟団体に対して、中央競技団体におかれては年齢・学校種・地域等の別に応じて組織されている関係団体に対して、このことを通知の上、指導者等への周知啓発に御協力くださるようお願いいたします。

なお、本件に関して、公益社団法人日本医師会から各都道府県医師会に対して、別紙1のとおり周知がされています。

**【本件連絡先】**

スポーツ庁競技スポーツ課企画係

電話：03-5253-4111（内線 2679）

E-mail: kyosport@mext.go.jp

**【参考資料】**

(貧血予防等に関する参考資料)

1. 公益財団法人日本陸上競技連盟「アスリートの貧血対処7か条」(別紙2として添付)

(<https://www.jaaf.or.jp/medical/anemia7.html>)

(スポーツと栄養に関する参考資料)

2. 文部科学省「食に関する指導の手引-第1次改訂版-」(第6章6.(4)スポーツをする児童生徒)

([http://www.mext.go.jp/a\\_menu/sports/syokuiku/1292952.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/syokuiku/1292952.htm))

3. 国立スポーツ科学センターウェブサイト「スポーツ栄養」

(<https://www.jpnsport.go.jp/jiss/nutrition/tabid/1188/Default.aspx>)

4. 公益財団法人日本陸上競技連盟「アスリートのエネルギー不足予防10か条」

(<https://www.jaaf.or.jp/news/article/12119/>)

(ジュニア期のスポーツ全般に関する参考資料)

4. 公益財団法人日本スポーツ協会「ジュニア期のスポーツライフマネジメント」

(<https://www.japan-sports.or.jp/publish/tabid776.html#guide03>)

(女性アスリートの健康等に関する参考資料)

5. 国立スポーツ科学センター「成長期女性アスリート指導者のためのハンドブック」(文部科学省委託事業)

(<https://www.jpnsport.go.jp/jiss/gaiyou/jigyoku/houkoku/nenpo/tabid/1112/Default.aspx>)

6. 東京大学医学部附属病院「Health Management for Female Athletes Ver.3 -女性アスリートのための月経対策ハンドブック-」(スポーツ庁委託事業)

(<http://femaleathletes.jp/book/HMFA3/>)